

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月6日

【評価実施概要】

事業所番号	3771500430
法人名	富士サービス株式会社
事業所名	グループホーム富士
所在地	香川県綾歌郡宇多津町2643番地3 (電話)0877-49-5817

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年11月27日	評価決定日	平成21年1月6日

【情報提供票より】(20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	6人	常勤	5人, 非常勤 1人, 常勤換算 5.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り
	1階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,500円	その他の経費(月額)	15,750円	
敷金	有()円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	350円	昼食	350円
	夕食	350円	おやつ	200円
	または1日当たり			1,250円

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	5名	男性	0名	女性	5名
要介護1	0名	要介護2	0名		
要介護3	5名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	77歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	林内科呼吸器科医院 尾崎歯科 聖マルチン病院 五色台病院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平屋の木造作りで、懐かしい家庭の温もりを感じさせる落ち着いた雰囲気グループホームである。理念の中の「ゆっくりと優しい言葉使いで話をしよう」「明るい雰囲気づくりをしよう」は、日ごろから代表者(管理者)が職員の模範として実践し職員に浸透している。研修会参加も計画的に取り入れ職員育成の支援をしている。職員は利用者の要望を聴き一緒にしたり見守りながら、一人ひとりの尊厳を大切に安全に暮らせる支援に努力している。また、栄養バランスの良い献立と新鮮な食材で調理した食事は利用者職員との共有した楽しみの時間になっている。かかりつけ医の定期的往診で体調管理も考慮し安心した生活をしている様子がかげえ、家族からの信頼を築いている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題として地域密着型サービスとしての理念を検討し作成したが、途中から改善継続にはいたっていない。前年度を参考にしながら継続的な改善の取り組みを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、全員の職員が意見を出し合い分担して取り組んだ。その結果をまとめ課題は職員が共有している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2か月に1回運営推進会議を開催して、状況報告や意見をもらっている。メンバーに自治会長が参加して地域とのつながりが深まったが、今後は運営の課題を提出したり勉強会や参加メンバーの役割や立場での活発な意見交換の場にして、サービス向上に活かせる会議の持ち方に期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を設置し意見や不満や苦情などを投書できるようにしている。また、面会時には家族が直接意見などを話しやすいように環境を整えたりして、運営に反映できる機会を設け対応している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入して地域とのつき合いに努めている。夏祭りや秋祭り歩行者天国などの地域行事に参加しているが、利用者の体力や意欲を考慮しながら一人ひとりのペースや意向に沿えるようにしている。また、認知症の理解を広めるために、中学生の体験学習も毎年受け入れている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての理念を検討し、事業所独自の理念をつくりあげた。		
		○理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有するために、毎日の申し送り時に唱和し日々の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		○地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入して地域とのつきあいに努めている。夏祭りや秋祭り、町の歩行者天国などの地域行事に参加している。また、中学生の体験学習も受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		○評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を実施する意義は理解しているが、改善の取り組みでは評価を活かした積極的な取り組みには至っていない。	○	地域密着型サービスとしての理念を検討し作成したが、改善継続には至っていない。前年度を参考にしながら継続的な改善の取り組みを期待したい。
		○運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の運営推進会議に自治会長がメンバーに加わり地域とのつながりが深まったが、会議内容は報告が主である。	○	グループホームが困っている課題を提出したり、勉強会や参加メンバーの役割や立場での活発な意見交換の場にして、サービス向上に活かせる会議の持ち方に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>定期的に連絡を取り、ホーム内の近況報告をしている。町役場にホームの便りを置かせてもらったり、パンフレットのサイズなどでもアドバイスをもらい作り変えた。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回の支払いは家族が持参するため、面会時に利用者の暮らしぶりや健康状態を報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し意見や不満、苦情などを投書できるようにしている。また、面会時には家族が意見などを話しやすいよう環境を整えたりして、運営に反映できる機会を設け対応している。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はほとんどないが、新採用者があれば利用者の影響を最小限度に抑える配慮をしている。現在利用者が減少しているので退職者の補充をしていない。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>基礎研修(認知症)や外部研修、内部研修など受講機会を設け職員の育成に努めている。受講者は内部で発表して報告している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に入会し勉強会に参加している。しかしそれ以上の交流の機会やネットワークづくりには至っていない。</p>	○	<p>同業者と勉強会や見学会をして、お互いに交流して向上する機会をつくる取り組みに期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者、家族が納得して利用するのが良好な状態であるが、緊急でサービス利用する機会が多く、病院からグループホームに直行するため、職員は家族と相談したり協力してもらったりしながら馴染めるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯たたみや豆の皮むき、巻きずしをまいたり利用者のできることを一緒にしたり、お祭りで職員が浴衣を着たときには、さりげなく帯を直してくれたりしてお互いに支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者は話し好きで、職員は聴く役割をして良好な信頼関係ができ、意向の把握をしている。グループホームから月2回位利用者それぞれの好みに応じたおやつサービスがあり、好みをはっきり答えている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の意見を聞き計画に反映している。職員は必要に応じて話し合いを持ち介護計画に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3かカ月ごとに見直しをしている。利用者の状態変化には、現状に即した計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や買い物、外泊などの要望に応じて、柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の意向や要望を聞きながら、適切な医療が受けられるように支援している。2週間に1回かかりつけ医の往診を受けて体調管理をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医や家族と話し合いながら情報を共有している。要望があれば、看取りにも応じ数例の経験をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の尊厳を大切に、ゆっくりと優しい言葉かけや態度で接するように努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課としての一日の流れはあるが、利用者のペースを大切にしながら、居室に閉じこもることなくその人らしく暮らせるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けは、加齢と共にできる人も少なくなってきた。皮むきなどできることを手伝いながら職員と食事を一緒にして楽しい時間を共有している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	風呂の入口にのれんをかけ、入浴への雰囲気づくりをしている。時間帯は日課表にあわせているが、隔日に入浴を楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の会話から役割、楽しみごと、気晴らしなど一人ひとりについて把握し支援できるようにしている。12月は、年賀状を家族に出す予定で準備をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの公園や保育所に散歩に出かけるが、利用者の状況や天候などの制約があり、日常的な外出支援には至っていない。	○	外出できない日は、座る生活動作が多くなるため、利用者が楽しく負担にならない程度のリハビリ体操などを日課に加え、足腰などの筋力維持をする工夫が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、鍵をかけないケアを実践している。職員は目配り気くばりをしながら見守りをして、安全の配慮をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防署の協力を得て、防災訓練を実施している。日ごろから緊急連絡網なども明示し避難方法も意識している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスや利用者の好み、季節を考え職員の栄養士が献立を作成している。食事の摂取量や水分量を把握し記録しており、一人ひとりに応じ支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が多くの時間を過ごす居間兼食堂は、季節の花や大きなテレビを設置したり、テーブルや椅子の配置も工夫して好みの場所で過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入口に表札を掲げ、家庭で使い慣れた家具、小物品や仏壇を持ち込み、押入れには生活用品などを整理して好みに合わせた居室になっている。		